

死亡事故の発生状況

「死亡(死者)」とは、交通事故によって発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。ただし、「30日死者の事故」の項では、「死者」を「24時間死者」という。

93件
95人

死亡事故の特徴

統計が残っている昭和23年以降、最少

平成27年中の死者数は、前年に比べ22人(-18.8%)減少した。

高齢者の構成率が減少

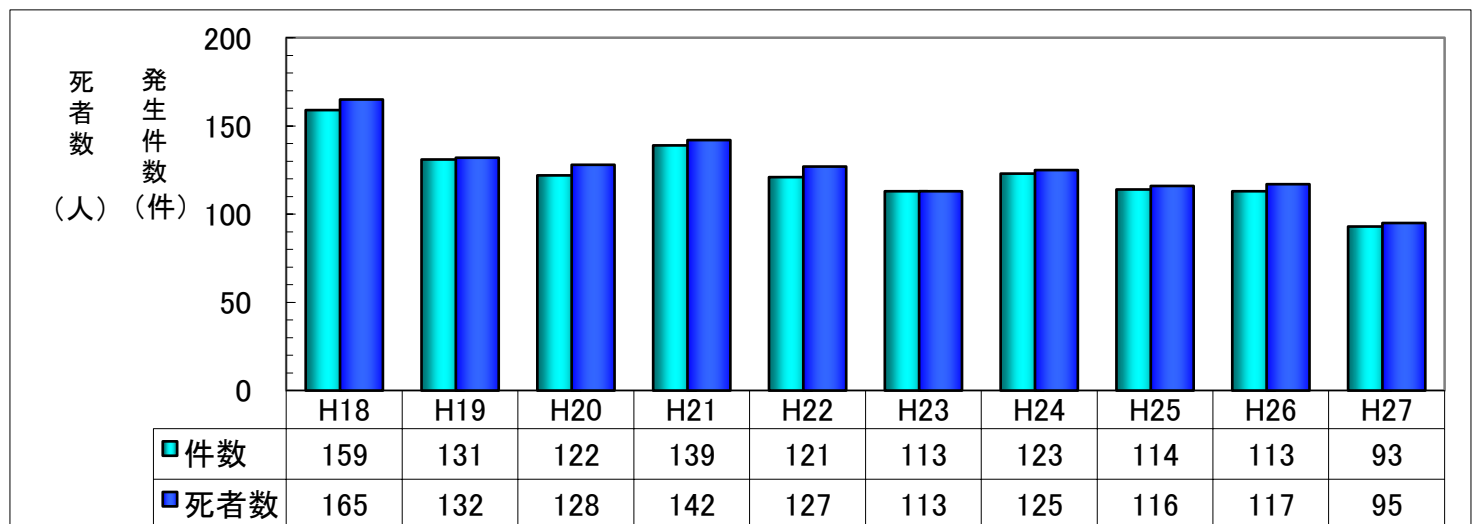
年代別死者数では、高齢者が46人で最も多く全体に占める割合が48.4%、4年ぶりに50%を下回った。

飲酒運転による死者数が減少

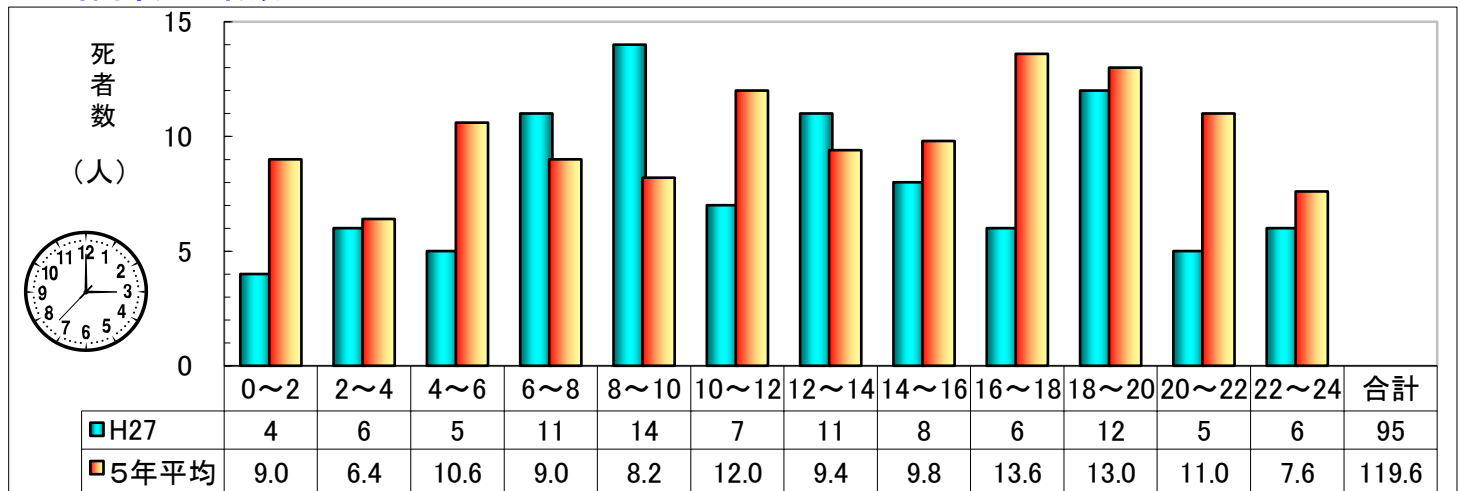
飲酒運転による死者数は、7人で前年同数であった。



● 過去10年間の推移



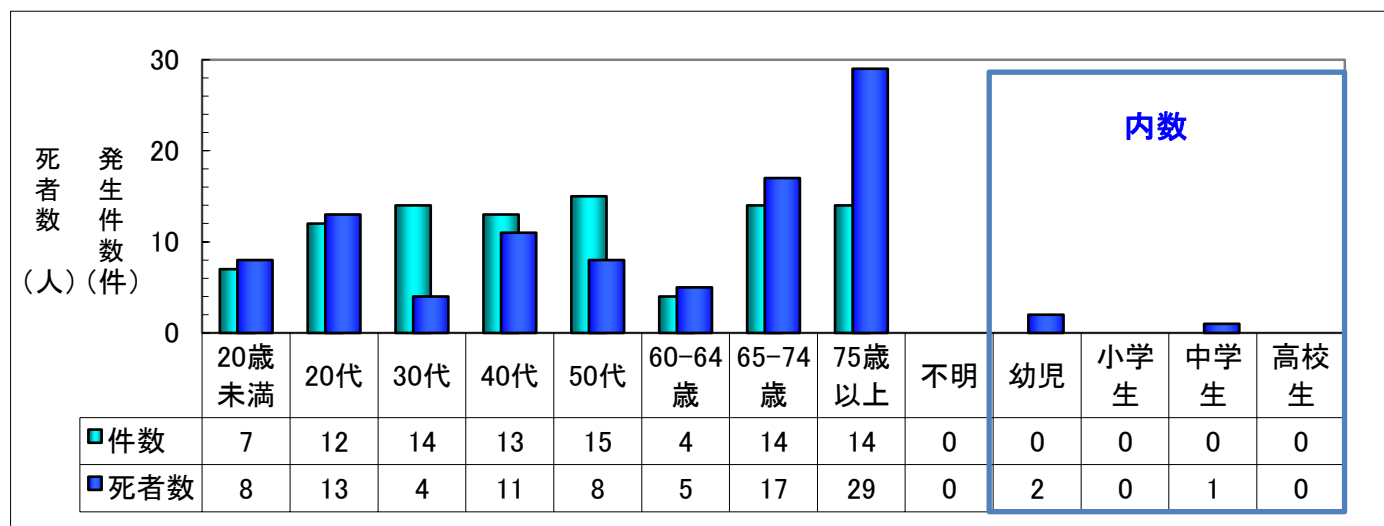
● 時間帯別死者数



● 道路形状・事故類型別死者数

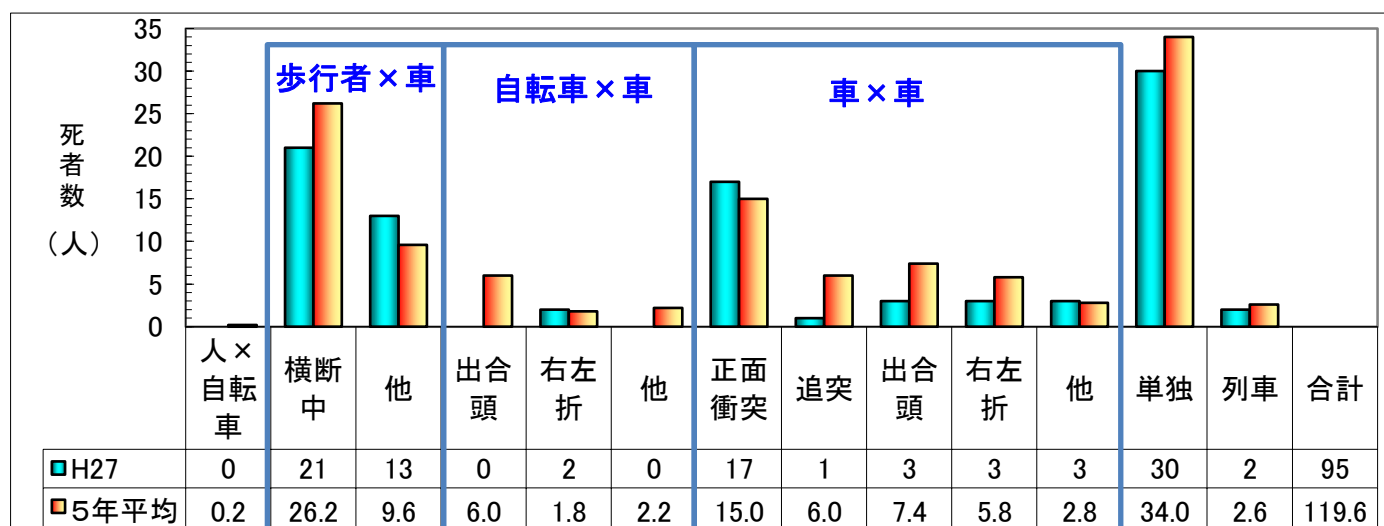
事故類型	交差点			単路	踏切	その他	合計
	信号有	信号無	計				
歩行者×車	7	10	17	15		2	34
自転車×車	1	1	2				2
車×車	2	8	10	17			27
車単独	1	5	6	24			30
列車					2		2
合計	11	24	35	56	2	2	95

● 年齢層別発生状況

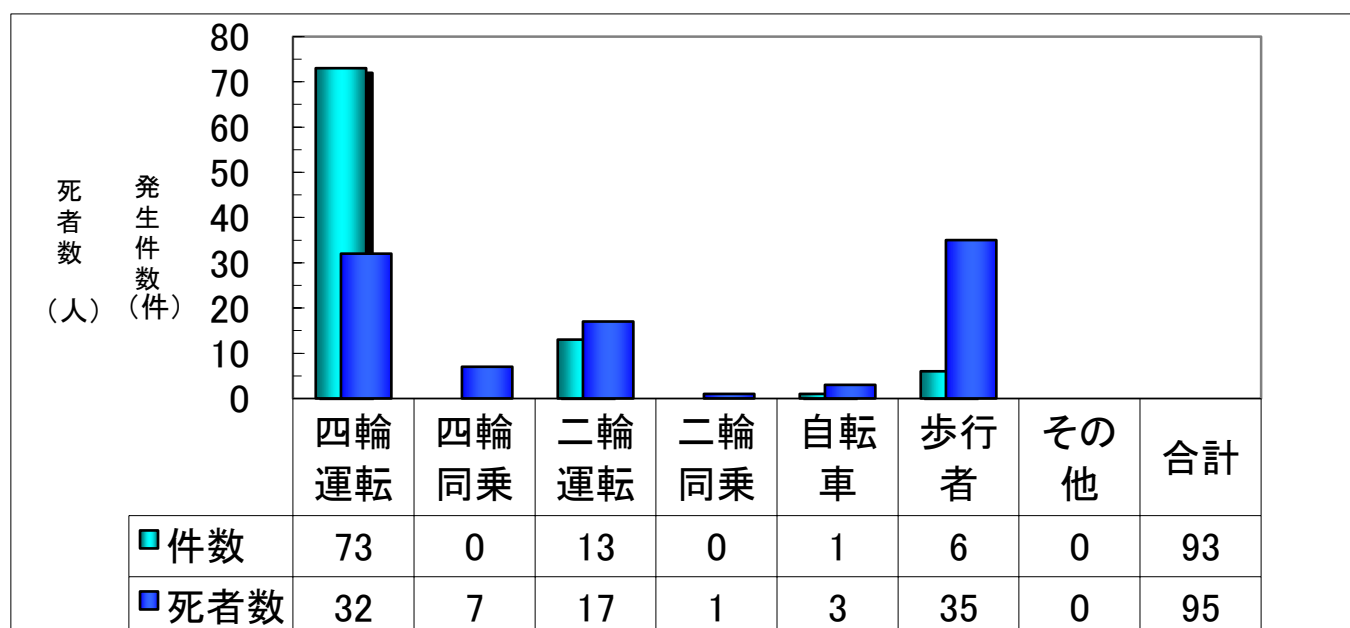


※ 件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。

● 事故類型別死者数



● 状態別発生状況



※ 件数は、事故の第1当事者の状態別で、死者数は死亡した本人の状態である。